

序 言

私が当保健管理センターの所長併任を命ぜられてからもうはや1年を経過しました。その間何等なすところなかった自分を省みて洵に申し訳ない思いです。

保健センターがまだ現在の形態を整えるに至らなかった以前から私の教室から医師およびX線技師を派遣して業務援助を行っていた関係上、仕事の内容や組織については一応承知していたつもりですが、1年間実際に仕事に携ってみるとやはり認識不足の点も少なくないことが分った。

金沢大学では保健センターの業務は原則的には学生を対象としているが場合によっては職員も含めた診療も行なわねばならないのは当然である。

本学保健センターでは心理学専攻の福井講師がコンサルタントとして着任せられて以来学生の精神衛生的な面を重視した相談が開かれるようになり、またそれを目的とした合宿も実施され、相当な効果を挙げたことは特記すべきことであろう。

従来健康管理に関しては優れた臨床家である津川洋三博士が引続き担当しておられ、着実に成果を収めておられることも高く評価せねばならないと思う。

入試身体検査、定期検診、成人検診等きまりきった仕事の外に色々と積極的な身心の健康管理と増進を目指して本年度は運営委員諸氏の御意見を徴して何等か新しい企画のもとに仕事を推進して行きたいと思う。

昭和46年7月

金沢大学保健管理センター

所 長 平 松 博

